

全国学力・学習状況調査結果のお知らせ

令和7年4月に小学6年生を対象に全国学力・学習状況調査が実施されました。その結果が通知されましたので、以下にその概要をまとめました。全体的には国語、算数、理科ともにほぼ全ての項目で全国・県の平均を上回っていました。本校では、この調査結果を活かして、児童の学力や学習状況を把握・分析し、教育内容の充実や授業改善に繋げていきたいと思えます。

1 調査内容

- ・教科による調査（国語・算数・理科）
- ・質問紙調査（学習意欲・学習内容・学習環境・生活習慣等に関するアンケート）

2 結果の概要と考察

【国語】

- 本校の国語の平均正答率は、全国平均、県平均の値を上回っている。
- 学習指導要領の内容「知識及び技能」（3）我が国の言語文化に関する事項が他項目に比べて高い正答率となっている。
- 選択式・短答式、記述式についても全国・県の平均を上回っている。
- 正答率が低かった問題に目を向けると、「思考力、判断力、表現力等」の（「A 話すこと・聞くこと」）が全国・県平均とはほぼ同等となっている。また、「C 読むこと」については他項目に比べ低い数値となっており、課題である。

【算数】

- 本校の算数の平均正答率は、全国・県の平均を上回っている。
- 学習指導要領の領域「C 測定、C 変化と関係」に関する問題が平均値を上回っている。
- 正答率が低かった問題に目を向けると、記述式が全国・県の平均値を上回っているが、全体から比べたら低い数値となっている。学習指導要領の領域「B 図形」の正答率が全国・県平均を少々上回っているが、他と比べて平均との差があまりない結果となっている。

【理科】

- 正答率では全国平均・県平均を上回っている。特に問題形式の選択式の分野で高くなっており、続いてA「粒子」を柱とする領域が上回っている。
- 「短答式」の分野の正答率が一番高くなっているが、全国・県平均との差も少ないため全体的な傾向と見られる。

【質問紙】

- 「学校の授業時間以外に、普段（月から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾や家庭教師との勉強時間・インターネットを活用した学習時間含む）」の質問では、勉強する時間が全国・県の平均とほぼ同等である。
- 「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾や家庭教師との勉強時間・インターネットを活用した学習時間含む）」については、全国・県の平均を大きく上回っている。特に4時間以上と回答した児童の割合が高い。
- 「自分には、よいところがあると思いますか」という質問に対して、「当てはまる」と回答した児童の割合が、全国・県平均を大きく上回る結果となった。

3 今後の教育活動・授業改善

- ・ iPad を効果的に活用して、育成した情報活用能力の活用を図っていく。
- ・ 日々の対話・声かけ・励まし・賞賛等を、授業や行事を通して行い、成長したことを振り返らせていく。